

**5/29 自らの地域は自ら守る 合同水防訓練を実施**  
市内全区の自主防災会関係者と消防団による合同水防訓練を、旧スポーツワールド駐車場で行いました。この訓練は、台風シーズン・出水期を前に、水防工法の技術習得を目的に毎年行っています。  
参加者は雨が降る中、消防団の指導により、水害時に水の侵入を防ぐ『土のう』の作り方や積み方を学びました。この日に作った土のうは、高さ3段・幅10メートルの『積土のう』を完成させました。  
水害時には、地元と消防団が協力し、地域ことは自分たちで守ることを確認しました。



雨の中、土のうを流れ作業で効率よく積み消防団



約17,000本もの菖蒲。一見の価値はありそうです。

**6月 新たな魅力が追加 城池親水公園菖蒲園**  
今年3月に植えた城池親水公園（葦山葦山）の花菖蒲が咲き始めました。植えられたおおよそ1万7千本の花菖蒲の品種は41種類。多くの種類を植えることで、色とりどりの花菖蒲が長い間楽しめるそうです。  
花菖蒲は、公園の東側駐車場付近や芝生広場手前に植えられています。棚田のような形状で、立体的な視覚が楽しめます。また、花菖蒲を囲むように遊歩道も整備されているため、散策も楽しめます。  
今年が初めての開花。天候にもよりますが、7月上旬ごろまで楽しめます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

**6/4 幽玄のひとときを満喫 ホテルまつりin伊豆の国**  
初夏の夜、葦山反射炉付近古川護岸で『ホテルまつりin伊豆の国』を行いました。反射炉ホテルコンサートでは、反射炉を背に、ダンスや合唱、ミュージカルなどを披露。今年度は東日本大震災復興支援チャリティイベントとして、収益を全額、日本赤十字に寄付しました。  
コンサート終了後、来場者は古川護岸へ移り、ホテルを観光。古川のホテルは、最近では珍しい自生天然ゲンジホテル。昨年は台風の上陸が少なかったため、今年も例年以上のホテルがふ化しました。来場者は、静寂に包まれる中乱舞するホテルの光に魅了されました。



コンサートでは参加者全員が『ほたるこい』を合唱



県防犯協会連合会長・県警本部長連名で表彰

**6/7 地域の安全安心に貢献 市青パト隊が防犯功労表彰**  
この日、静岡市のホテルで静岡県防犯協会連合会通常総会が行われ、『伊豆の国市青色防犯パトロール隊』が、防犯功労団体として県防犯協会連合会長（県知事）・県警本部長連名の表彰を受けました。  
表彰は、同パトロール隊が、多年にわたり地域安全活動に尽力し、安全安心のまちづくりに貢献したことを評価されたものです。  
『伊豆の国市青色防犯パトロール隊』は、民生委員や地域有志など、各種団体の協力を得て、平成22年度には年間610回ものパトロールを実施しました。今後も地域の安全安心のため、活動を続けていきます。



市長から選任書を手渡される大川委員長

**5/18 委員長に大川治彦氏 市教育委員長選任**  
伊豆の国市教育委員会委員として大川治彦氏（土手和田）が再任され、市長から選任書が手渡されました。その後行われた教育委員会5月定例会で、教育委員長に大川氏、同委員長職務代理者に上田恵美子氏（中島）を選任しました。  
平成17年度から教育行政の要として尽力されている大川委員は、「子どもたちの安全確保を目的に、校舎の耐震化などハード面について、学校環境を整えていただいていることに感謝します。今後は、智・徳・体のバランスのとれた人材の育成を目標に、ソフト面について力添えをしたい」と抱負を語りました。

**5/21 待望のシーズン到来 狩野川アユ釣り解禁**  
天候に恵まれた今年の解禁日。狩野川大橋付近には、県内外から多くの釣り人で賑わいました。  
この日、東京から訪れた釣り人は「釣果はまずまず。今年のアユは型も良く、大きさも昨年以上」と満足そうでした。  
漁協によると「天然アユは例年より3割ほど少ないが、今後の照り込み次第では楽しみなシーズン」と期待していました。市内流域のピークは8月から10月ごろとのことです。  
漁期は、12月末日まで。遊漁料などは、漁協にお問い合わせください。  
問合せ 狩野川漁業組合  
☎0558-72-5945



解禁を待ちわびていた釣り人たち（狩野川大橋付近）



火点に向かって放水する要員（ポンプ車操法）

**5/22 火点は前方の標的 田方支部消防操法大会**  
消防団が日ごろの訓練の成果を競い合う『平成23年度田方支部消防操法大会』が、熱海市で行われました。  
熱海・伊豆・三島・伊東・伊豆の国・函南の5市1町から代表分団が出場する同大会に、伊豆の国市消防団からは『ポンプ車操法の部』に第4分団が、『小型ポンプ操法の部』に第10分団が出場しました。  
ポンプ車操法は5人、小型ポンプ操法は4人1組で行い、指揮者の号令のもと、火点に向かって放水。スピードと動作の規律制を競います。  
伊豆の国市は、ポンプ車操法・小型ポンプ操法共に『努力賞』という結果でした。

**5/22 多賀城市民へエール 応援メッセージ旗を送る**  
支援活動で多賀城市を訪問した伊豆の国市職員の手で、『多賀城市民応援メッセージ旗』が届けられました。これは、東日本大震災で被災した多賀城市の皆さんを励ます目的で、伊豆の国市民が書き寄せたもの。旗は、5月20日まで市役所伊豆長岡庁舎に置かれ、子どもからお年寄りまで多くの市民が書き込みました。「二日も早い復興を」「心をひとつに」「みんなががんばろう」「一人じゃない、みんながついているよ」などのメッセージが記されました。  
このメッセージが多賀城市の皆さんを、少しでも勇気付けられることを願っています。



当市職員（左）から多賀城市職員（右）に手渡しました。